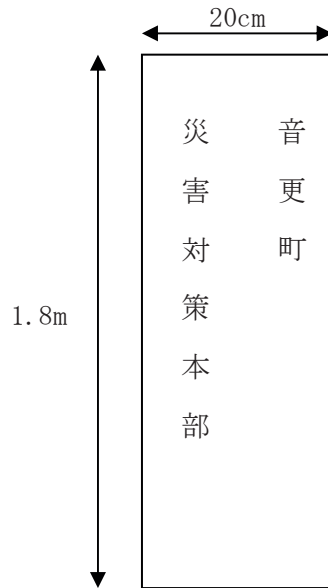


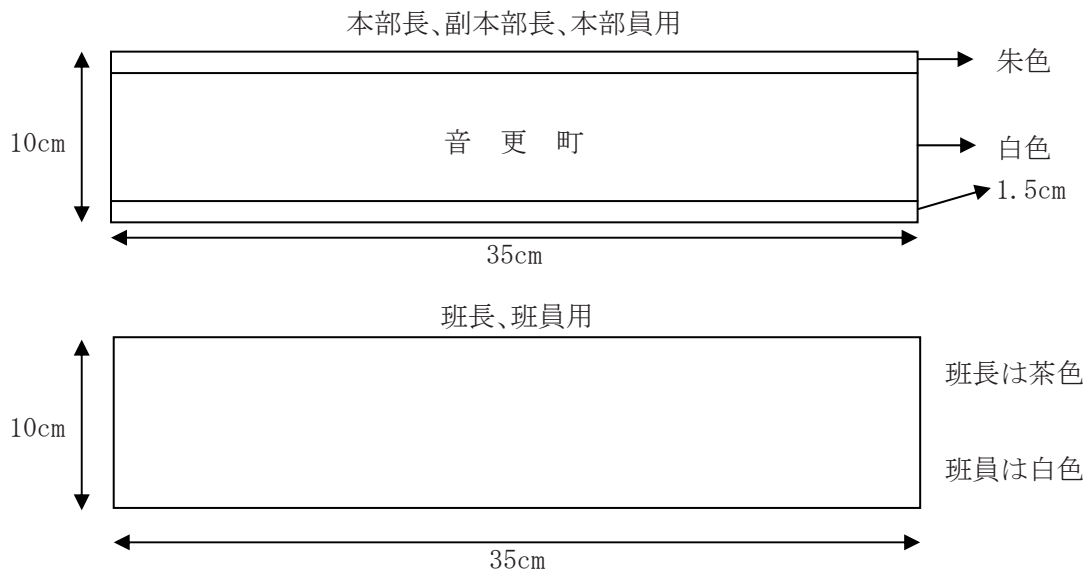
7 書式・様式

7-1 災害対策本部標示板・標章及び標旗【本編第3章第2節】【地震第3章第1節】

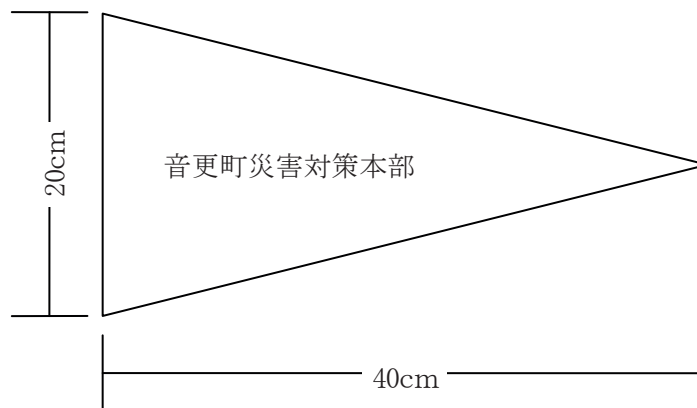
【標示板】



【腕章】



【車旗】



7-2 緊急通行車両及び規制対象除外車両の標章及び各証明書【本編第5章第13節・第14節】【地震第3章第9節】

【緊急通行車両の標章及び確認証明書】

(様式1) 標章



- (備考) 1 色彩は、記号を黄色、縁及び「緊急」の文字を赤色、「登録(車両)番号」、「有効期限」、「年」、「月」及び「日」の文字を黒色、登録(車両)番号並びに年、月及び日を表示する部分を白色、地を銀色とする。
- 2 記号の部分に、表面の画像が光の反射角度に応じて変化する措置を施すものとする。
- 3 図示の長さの単位は、cm とする。

(様式2) 緊急通行車両確認証明書

第 号		年 月 日	
緊急通行車両確認証明書			
		北海道知事	印
		公安委員会	印
番号標に表示されている番号			
車両の用途（緊急輸送を行う車両にあつては、輸送人員又は品名）			
使用者	住所		
	氏名		
通行日時			
通行経路	出発地	目的地	
備考			

(備考) 用紙は、日本工業規格A5とする。

【規制対象除外車両の標章及び通行証明書】

(様式1) 規制対象除外車両標章



- (備考) 1 色彩は、記号を黄色及び緑、「除外」の文字を青色、「登録(車両)番号」、「有効期限」、「年」、「月」及び「日」の文字を黒色、登録(車両)番号並びに年、月及び日を表示する部分を白色、並びに地を銀色とする。
- 2 記号の部分に、表面の画像が光の反射角度に応じて変化する措置を施すものとする。
- 3 図示の長さの単位は cm とする。

(様式2) 規制対象除外車両通行証明書

第 号		年 月 日
規制対象除外車両通行証明書		
		知 事 公安委員会
番号標に表示されている番号		印 印
通行目的		
使用者	住所	() 局 番
	氏名	
通行日時		
通行経路	出発地	目的地
備 考		

(備考) 用紙は、日本工業規格A5とする。

7-3 自衛隊派遣要請書【本編第5章第6節】【地震第3章第28節】

(様式1)

音 発
年 月 日

北海道十勝総合振興局長 様

音更町長 印

自衛隊の災害派遣要請について

このことについて、次のとおり自衛隊の災害派遣要請を要求します。

記

- 1 災害の状況及び派遣を要請する事由
- 2 派遣を希望する期間
- 3 派遣を希望する区域及び活動内容
- 4 派遣部隊が展開できる場所
- 5 派遣部隊との連絡方法、その他参考となる事項

(担当部課係)

7-5 北海道消防防災ヘリコプター緊急運航伝達票【本編第5章第8節】【地震第3章第11節】

(第 報)

北海道消防防災ヘリコプター緊急運航伝達票

要請日時：平成 年 月 日 時 分

次のとおりヘリコプターの出動を要請します。

	要請機関名								
	担当者職氏名								
	連絡先	TEL FAX							
災害の状況・派遣理由	覚 知	平成 年 月 日 時 分							
	災害発生日時	平成 年 月 日 時 分							
	災害発生場所								
	災 害 名								
	災害発生状況・措置状況								
派遣を必要とする区域		希望する活動内容							
気象の状況									
離着陸場の状況	離着陸場名								
	特記事項	(照明、Mマーク、吹き流し、離着陸場周辺の状況(障害物等)ほか)							
必要とする資機材		現場での資機材確保状況							
		特記事項							
傷病者の搬送先		救急自動車等の手配状況							
他機関の応援状況	他に応援要請している機関								
	現在付近で活動中の航空機の状況								
現地最高指揮者	(機関名)	(職・氏名)							
無線連絡方法		(周波数) Hz							
その他参考となる事項									
搭乗者	所 属	職	氏 名	年 齢	所 属	職	氏 名	年 齢	備 考

7-6 北海道消防防災ヘリコプター緊急運航に係る災害等状況報告書【本編第5章第8節】【地震第3章第11節】

(別記第2号)

第 号
年 月 日

北海道消防防災ヘリコプター緊急運航に係る災害等状況報告書

総括責任者

北海道総務部危機管理監 様

音更町長

印

北海道消防防災ヘリコプター緊急運航要領第8条の規定に基づき、次のとおり報告します。

記

災害発生日時	年 月 日 () 時 分								
災害発生場所									
派遣区域									
離着陸場所									
使用した資機材									
傷病者の搬送先									
消防防災 ヘリコプター に係る活動 内容等	[地元の活動状況 (消防防災ヘリコプター運航に係る分)]								
	[消防防災ヘリコプターによる活動内容]								
災害発生状況 ・措置状況									
その他参考 となる事項									
搭乗者	所属	職	氏名	年齢	所属	職	氏名	年齢	備考

7-7 救急患者の緊急搬送情報伝達票【本編第5章第8節】【地震第3章第11節】

(様式第1号) 救急患者の緊急搬送情報伝達票

第 報

要請日時		平成		年	月	日	時	分
1 要請市町村名		電話					F A X	
担当課・職・氏名		職名					氏 名	
2 依頼病院名							電 話	
所在地							F A X	
担当医師名・科名			科				担当課 氏名	
3 受入病院名							電 話	
所在地							F A X	
担当医師名・科名			科				直通内線番号	
受入病院の了承： <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無								
4 患者氏名	生年月日	年	月	日	歳			
	体 重	kg	<input type="checkbox"/> 男	<input type="checkbox"/> 女	職業			
住 所							感染症： <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	
病 名							<input type="checkbox"/> 入院中 <input type="checkbox"/> 外来： 月 日	
経 過							血圧： mmHg 脈拍： 回/分	
							呼吸： 回/分 体温： °C	
							意識レベル(JCS)：	
航空機による搬送が必要な理由	<input type="checkbox"/> 緊急性 <input type="checkbox"/> 搬送時間短縮 <input type="checkbox"/> 搬送安定性 <input type="checkbox"/> その他() (主な理由：)							
気圧変化： <input type="checkbox"/> 影響無し <input type="checkbox"/> 影響有り								
5 受入病院選定理由 (①、②のいずれか記載)								
<input type="checkbox"/> ①高次・専門医療機関での治療が必要なため(治療内容：)								
<input type="checkbox"/> ②その他 (具体的な理由：)								
6 付添搭乗者	氏 名	性別	年 齢	体 重	そ の 他			
医 師			歳	kg				
看 護 師			歳	kg				
付 添 人			歳	kg	続柄：			
医師・看護師の所属病院： <input type="checkbox"/> 依頼病院 <input type="checkbox"/> 受入病院 <input type="checkbox"/> その他病院名 ()								
7 運航上の必要事項 機内に積載する医療資機材等								
資 機 材 名	有	数量	総重量	要電源	特 記 事 項			
①点滴	<input type="checkbox"/>		kg		<input type="checkbox"/> 輸液ポンプあり			
②シリンジポンプ	<input type="checkbox"/>		kg					
③酸素ボンベ	<input type="checkbox"/>		kg		<input type="checkbox"/> 80以上(サイズ： × (cm))			
④モニター類	<input type="checkbox"/>		kg		<input type="checkbox"/> 心電図 <input type="checkbox"/> その他()			
⑤保育器	<input type="checkbox"/>		kg		サイズ：W ×L ×H (cm)			
⑥人工呼吸器	<input type="checkbox"/>		kg		サイズ：W ×L ×H (cm)			
⑦救急バック	<input type="checkbox"/>		kg					
⑧その他()	<input type="checkbox"/>		kg					
引継場所 (現地離着陸場)	依頼病院：			メモ				
	受入病院：							

※市町村はNo.1～No.7の項目を記載の上、要請すること。(□欄はレ点又は■で該当項目をチェック)

※No.4「経過」No.5について欄内に記入しきれない場合は、別紙(任意)により送付すること。

7-8 緊急患者の緊急搬送処理票【本編第5章第8節】【地震第3章第11節】

(別記第3号様式)

緊急患者の緊急搬送処理票

(第 報)

要請年月日	年 月 日 時 分				
1 要請町名	電話		F A X		
担当者	課名	職名	氏名		
2 依頼病院名	電話				
所在地	担当者(医師名)		医師	氏名	
3 受入れ医療機関名	所在地		電 話 F A X		
	受入れ医療機関の承認		有 ・ 無		
4 ふりがな 患者氏名	体重	kg	職業	生年月日	年 月 日生 歳 男・女
ふりがな 住 所					
ふりがな 病 名	現 状				
経 過					
5 付添搭乗者(医師、看護師の所属: 依頼病院 ・ 受入れ医療機関)					
氏名	医師		年齢	歳	体重 kg
	看護師		年齢	歳	体重 kg
	付添人		年齢	歳	体重 kg
6 運航上の必要事項					
(1) 患者に装備されている医療機器の状況					
①点滴	(規格	×		、重量	g)
②保育器	(規格 H	×W	×L	、重量	g)
③酸素吸入器	(規格	×		、重量	g)
④その他	(名称	、規格	×	、重量	g)
(2) 積載される機器の種類、重量、規格					
①依頼病院	kg		kg		kg
②受入れ医療機関	kg		kg		kg
現地離着陸場	メモ				

注：町は、No.1～No.6の項目を記載の上要請すること。

7-9 緊急患者の緊急搬送処理票（北海道防災航空室）【本編第5章第8節】【地震第3章第11節】

緊急患者の緊急搬送処理票（北海道防災航空室）

※確認事項				
気象・丘珠空港・離着陸（管制・CAV・空港施設）・救急車（現地・到着地）・給油				
7 フライト決定	年	月	日 時 分	
	運航機関名		機種	
8 ヘリコプター等のフライト決定通知				
防災航空室から市 年 月 日 時 分				
【伝達方法：電話（伝達先氏名）・FAX】				
9 ヘリコプター等のフライト情報の伝達				
◎総括管理者（防災消防課）	電話伝達先氏名	《TEL 011-231-4111 内 22-581》		
	()	《FAX 011-231-4314 》		
◎十勝総合振興局（地域政策課）	電話伝達先氏名	《TEL 26-9023 》		
	()	《FAX 22-0185 》		
◎道警察航空隊	電話伝達先氏名	《TEL 011-251-0110 内 753222》		
	()	《FAX 011-781-4944 》		
◎札幌消防航空隊	電話伝達先氏名	《TEL 011-784-0119 》		
	()	《FAX 011-784-0290 》		
◎陸上自衛隊北部方面総監部	電話伝達先氏名	《TEL 011-511-7116 内 2574 》		
運用室運用班	()	《FAX 011-511-7116 内 2769 》		
◎航空自衛隊	電話伝達先氏名	《TEL 0123-23-3101 内 2231 》		
第2航空団防衛班	()	《FAX 0123-23-3101 内 2769 》		
10 ヘリコプター等の発着時刻				
	救急車		ヘリコプター	
	場所	時刻	場所	時刻
現 地	(病院等)	(発) :	(丘珠)	(発) :
			給油	(着) :
	(ヘリポート)	(着) :	(現地)	(着) :
目 的 地	(ヘリポート)	(発) :	(現地)	(発) :
	(病院等)	(着) :	(目的地)	(着) :
時刻：上段・予定時刻、下段・実時刻				

7-10 気象警報等受理票【本編第5章第1節】

(様式1)

町長	副町長	課長	課長補佐	係長	係	合議

気象警報等受理票

平成 年 月 日	午前 午後	時 分	連絡 電話、電報、無線
発信者		受信者	
警報等の種類		発表時刻	
受理事項			
処理事項			

7-11 災害情報報告【本編第5章第1節】

(別表1) 災害が発生し、又は発生するおそれがある場合は、本様式により速やかに報告すること。

災 害 情 報				
報 告 時 限	月 日 時 現 在	発 信 日 時	月 日 時 分	
発 信 機 関 (振興局・市町村名等)		受 信 機 関 (振興局・市町村名等)		
発 信 担 当 者 (職・氏名)	印	受 信 担 当 者 (職・氏名)	印	
発 生 場 所				
発 生 日 時	月 日 時 分	災 害 の 原 因		
気象等の状況	雨 量 河川水位 潮位波高 風 速 そ の 他			
交通・通信・水道等の状況	道 路 鉄 道 電 話 水 道 (飲料水) 電 気 そ の 他			
(1) 災害対策本部の設置 状況	(名 称) (設置日時) 月 日 時 分 設置			
(2) 災害救助法適用の状 況	地区名	被害棟数	罹災世帯	罹災人員
	(救助実施内容)			

応 急 措 置 の 状 況	(3) 避難の状況		地区名	被害棟数	人員	時間
		自主避難				
		避難勧告				
		避難指示				
の 状 況	(4) 自衛隊派遣要 請の状況					
	(5) その他措置の 状況					
(6) 応急対策出動 人員	(7)出動人員			(イ)主な活動状況		
	市町村職員	名				
	消防職員	名				
	消防団員	名				
	その他(住民等)	名				
計		名				
そ の 他						

注：欄に記入しきれない場合は、適宜別葉に記載し報告すること。

7-12 被害状況報告【本編第5章第1節】

被害状況報告（速報 中間 最終）

災害発生日時		月 日 時 分		災害の原因		月 日 時 現在		
災害発生場所		音更町						
発信	機関（市町村）名				受信	機関（市町村）名		
	職・氏名					職・氏名		
	発信日時		月 日 時 分			発信日時		
項目		件数等	被害金額（円）	項目		件数等	被害金額（円）	
①人的被害	死者	人		※個人別の氏名、性別、年齢、原因は、補足資料で報告	⑤土木被害	河川	カ所	
	行方不明	人				海岸	カ所	
	重傷	人				砂防設備	カ所	
	軽傷	人				地すべり	カ所	
	計	人				急傾斜地	カ所	
②住家被害	全壊	棟		⑥水産被害		道路	カ所	
		世帯				橋梁	カ所	
		人				小計	カ所	
	半壊	棟				河川	カ所	
		世帯				道路	カ所	
		人				橋梁	カ所	
	一部破損	棟				小計	カ所	
		世帯				港湾	カ所	
		人				漁港	カ所	
	床上浸水	棟				下水道	カ所	
		世帯			公園	カ所		
		人			崖くずれ	カ所		
	床下浸水	棟			計	カ所		
		世帯			⑦林業被害	沈没流出	隻	
		人				破損	隻	
棟		計	隻					
③非住家被害	全壊	公共建物	棟		漁港施設	カ所		
		その他	棟		共同利用施設	カ所		
	半壊	公共建物	棟		その他施設	カ所		
		その他	棟		漁具（網）	件		
	計	公共建物	棟		水産製品	件		
	その他	棟		その他	件			
④農業被害	農地	田	ha		道有林	林地	カ所	
			ha			治山施設	カ所	
		畑	ha			林道	カ所	
			ha			林産物	カ所	
	農作物	田	ha			その他	カ所	
		畑	ha			小計	カ所	
	農業用施設	カ所		一般民有林	林地	カ所		
	共同利用施設	カ所			治山施設	カ所		
	営農施設	カ所			林道	カ所		
	畜産被害	カ所			林産物	カ所		
	その他	カ所			その他	カ所		
	計				小計	カ所		
			計	カ所				

項 目			件数等	被害金額 (千円)	項 目			件数等	被害金額 (千円)
⑧ 衛生被害	水 道	カ所			⑪ 社会教育施設被害	カ所			
	病 院	公 立	カ所		⑫ 社会福祉施設等被害	公 立	カ所		
		個 人	カ所			法 人	カ所		
	清 掃 施 設	一般廃棄物処理	カ所			計	カ所		
		し尿処理	カ所						
火葬場	カ所								
	計	カ所							
⑨ 商工被害	商 業	件			⑬ その他	鉄道不通	カ所		
	工 業	件				鉄道施設	カ所		
	そ の 他	件				被害船舶 (漁船除く)	隻		
計	件			空 港		カ所			
⑩ 公立文教施設被害	小 学 校	カ所				水 道	戸		
	中 学 校	カ所				電 話	回線		
	高 校	カ所				電 気	戸		
	その他文教施設	カ所				ガ ス	戸		
	計	カ所				ブロック塀等	カ所		
						都市施設	カ所		
					計				
公共施設被害市町村数	団体			被害総額					
罹 災 世 帯 数	世帯			火災発生	建 物	件			
罹 災 災 者 数	人				危 険 物	件			
消防職員出動延人数	人				そ の 他	件			
				消防団員出動延人数	人				
災害対策本部の設置状況	道 (十勝総合振興局)								
	市町村名	名 称				設置日時	廃止日時		
救助法適用市町村名									
備 考									

7-13 災害救助日報 【本編第5章第4節】【地震第3章第5節】

災 害 救 助 日 報

報告機関				受信機関					
送信者				受信者					
報告時限 月 日 時 現在				受信時間 月 日 時					
避難所開設	開設期間	開設日時	日 時	被服寝具等生活必需品給与	道より受け入れ又は		点		
		閉鎖予定日	月 日		前日よりの繰越量				
	既存建物	個所数	カ所		本日支給	全失世帯数		(世帯) 点	
		収容人員	人			半失、床上浸水世帯数		(世帯) 点	
	野外仮設	個所数	カ所		翌日への繰越量		点		
		収容人員	人						
食糧の給与	給与期間	開始月日	月 日	医療・助産救助	医療隊	医療隊出動数			
		終了予定日	月 日			救助地区			
	給与個所数	カ所				診療者数	診療	医療	人
		給与人員	朝		人		助産	人	
			昼		人	医療機関		医療	施設数
			夕		人		助産	診療	施設数
計	人	救助終了予定月日		月 日					
給水	供給地区数		地区	被災者救出	救出地				
	供給実人員		人		救出をした人員			人	
	供給水量				今後救出を要する人員			人	
	給水期間	開始月日	月 日		救出終了予定月日			月 日	
		終了予定日	月 日		救出の方法				
	給水方法								

災 害 救 助 日 報 (続 き)

学用品支給	本日支給	小学生	全壊世帯	()人 点	遺体の処理	死亡人員		体	
			半壊(床上浸水)世帯	()人 点		遺体処理	遺体洗浄	体	
		中学生	全壊世帯	()人 点			遺体縫合	体	
			半壊(床上浸水)世帯	()人 点			遺体消毒	体	
埋葬	前日までの埋葬					遺体の処理	遺体保存	既存建物利用	カ所
	本日埋葬	大人						仮設建物	カ所
		子供					遺体処理機関		
		計					今後遺体処理を要する遺体	体	
	翌日以降の要埋葬数				遺体処理終了予定月日		月 日		
	埋葬完了予定月日		月 日		障害物除去を要する戸数		戸		
遺体の搜索	搜索地区				障害物除去	本日除去した戸数		戸	
	遺体	搜索を要する遺体				今後除去を要する戸数		戸	
		本日発見遺体				障害物除去終了予定月日	月 日		
		今後の要搜索遺体				輸送	公用車使用		台
	搜索の方法				借用车使用		台		
	搜索終了予定月日		月 日		救助の種類				
仮設住宅	着工	月 日	月 日	要員	用員雇上数		人		
	竣工	月 日	月 日		従事作業				
住宅修理	着工	月 日	月 日		員	その他			
	竣工	月 日	月 日						
備考									

7-14 避難所収容者名簿 【本編第5章第4節】 【地震第3章第5節】

避難所収容者名簿

避難所名	
部 班 名	部 班
責任者氏名	
報告日時	月 日 時

世帯主氏名	住 所	家族構成（世帯主含む）												要医療者	要助産者	収容期間	
		0歳～3歳		4歳～6歳		小学生		中学生		大人 (高校生含む)		計					
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
																	月 日 から 月 日 まで
																	月 日 から 月 日 まで
																	月 日 から 月 日 まで
																	月 日 から 月 日 まで
																	月 日 から 月 日 まで
																	月 日 から 月 日 まで
																	月 日 から 月 日 まで
																	月 日 から 月 日 まで

7-15 避難所開設状況 【本編第5章第4節】【地震第3章第5節】

避難所開設状況

部 班 名	部 班
報 告 日 時	月 日 時

避難所名	開設月日時	収容人員	備 考

注：備考欄は、閉鎖予定月日等を記入すること。

7-16 公用負担 【本編第5章第5節】

(別表第1号様式)

従事 第 号

公 用 令 書

住所
氏名

従事

災害対策法第71条の規定に基づき、次のとおり を命ずる。

協力

平成 年 月 日

処分権者 音更町長 印

従事すべき業務	
従事すべき場所	
従事すべき期間	
出頭すべき日時	
出頭すべき場所	
備 考	

(備考)用紙は、日本工業規格A5とする。

(別表第2号様式)

保管 第 号

公 用 令 書

住所
氏名

災害対策基本法第71条の規定に基づき、次のとおり、物資の保管を命ずる。

平成 年 月 日

処分権者 音更町長 印

保管すべき物資の種類	数量	保管すべき場所	保管すべき期間	備 考

(備考)用紙は、日本工業規格A5とする。

(別表第 3 号様式)

管理 第 号	公 用 令 書						
	住所 氏名						
災害対策基本法第 71 条の規定に基づき、次のとおり	土地 家屋 施設 物資		管理 を 使用 する。 収用				
平成 年 月 日	処分権者 音更町長						印
名称	数量	所在場所	範囲	期間	引渡月日	引渡場所	備考

(備考)用紙は、日本工業規格 A 5 とする。

(別表第 4 号様式)

変更 第 号	公 用 変 更 令 書						
	住所 氏名						
災害対策基本法第 71 条の規定に基づく公用令書(月 日第 号)にかかる処分を次のとおり変更したので、同法施行令第 34 条第 1 項の規定により、これを交付する。							
平成 年 月 日	処分権者 音更町長						印
変更した処分の内容							

(備考)用紙は、日本工業規格 A 5 とする。

7-17 識別票（トリアージ・タグ）【本編第5章第10節】【地震第3章第17節】

トリアージ・タグ

一枚目

(災害現場用)

No.	氏 名 (Name)	年齢 (Age)	性別 (Sex) 男 (M) 女 (F)
住所 (Address)		電話 (Phone)	
トリアージ実施月日・時刻 月 日 AM 時 分		トリアージ実施者氏名	
搬送機関名		収容医療機関名	

二枚目

(搬送機関用)

音更町災害対策本部

11.0cm

1.8cm

6.2cm

8.0cm

16.0cm

一枚目

(災害現場用)

二枚目

(搬送機関用)

No.	氏名 (Name)	年齢 (Age)	性別 (Sex) 男 (M) 女 (F)
住所 (Address)		電話 (Phone)	
トリアージ実施月日・時刻 月 日 AM 時 分		トリアージ実施者氏名	
搬送機関名		収容医療機関名	
音更町災害対策本部			
○		(黒)	
I		(赤)	
II		(黄)	
III		(緑)	

三枚目裏面
(収容医療機関用)

特記事項

音更町災害対策本部

○ (黒)

I (赤)

II (黄)

III (緑)

7-18 医療班活動状況【本編第5章第10節】【地震第3章第17節】

(様式1)

医療班活動状況

医師名

印

月日	町名	患者数	措置の概要	遺体検案数	修繕費	備考
		人		人	円	
計						

注：「備考」欄に班の編成、活動期間を記入すること。

7-19 病院医療実施状況【本編第5章第10節】【地震第3章第17節】

(様式2)

病院医療実施状況

音更町

医療機関名	患者氏名	医療期間	病名	区分		報酬点数		金額	備考
				入院	通院	入院	通院		
		月 日				点	点	円	
計									

注：「診療区分」欄は該当欄に○印を記入すること。

7-20 助産台帳【本編第5章第10節】【地震第3章第17節】

(様式3)

助産台帳

音更町

分娩者氏名	分娩日時	助産機関名	分娩期間	金額	備考
			月 日～ 月 日	円	
計					

7-2 1 応急仮設住宅台帳【本編第5章第2 4節】【地震第3章第2 2節】

(様式1)

応急仮設住宅台帳

音更町

応急仮設 住宅番号	世帯主 氏名	家族数	所在地	構造 区分	面積	敷地 区分	着工 月日	竣工 月日	入居 月日	実支 出額	備考
							月日	月日	月日	円	
計	世帯										

- 注：1 「応急仮設住宅番号」欄は応急仮設住宅に付した番号とし、設置箇所を明らかにした簡単な図面を作成し添付すること。
- 2 「家族数」欄は、入居時における世帯主を含めた人員数を記入すること。
- 3 「所在地」欄は、応急仮設住宅の建設場所の住所を記入すること。
- 4 「構造区分」欄は、木造住宅、プレハブ住宅、パイプ式組立住宅の別を記入すること。
- 5 「敷地区分」欄は、公私有別とし、有無償の別を明らかにすること。
- 6 「備考」欄には、入居後における経過を明らかにしておくこと。

7-22 住宅応急修理記録簿【本編第5章第24節】【地震第3章第22節】

(様式2)

住宅応急修理記録簿

音更町

世帯主氏名	修理箇所概要	完了月日	実支出額	備考
		月 日	円	
計	世帯			

7-23 障害物除去の状況【本編第5章第25節】【地震第3章第26節】

(様式)

障害物除去の状況

音更町

住家被害 程度区分	氏名	除去に 要した期間	実支出額	除去に要すべき 状態の概要	備考
		月 日～ 月 日	円		
計	半壊()	世帯			
	床上浸水	世帯			

7-24 記録集計表【本編第5章第10節】【地震第3章第17節】

記 録 集 計 表

月 日現在 被災状況	死 亡		重 傷	中 傷	軽 傷	合 計	収容場所	出動隊名
	現 場	医 療 機 関						
月 日 時 分 現在	男							
	女							
	計							

7-25 輸送記録簿 【本編第5章第14節】【地震第3章第10節】

(様式)

輸送記録簿

音更町

輸送 月日	目的	輸送 区間 (距離)	借上等			修繕					燃 料 費	実 支 出 額	備 考
			使用車両		金額	故障車両等		修繕 月日	修繕 費	故障 の 概要			
			種類	台数		名称 番号	所有者 氏名						
					円						円	円	
計													

- 注：1 「目的」欄は、主たる目的（又は救助の種類名）を記入すること。
 2 都道府県又は町の車両等による場合は、「備考」欄に車両番号を記入すること。
 3 借上車両による場合は、有無償を問わず記入すること。
 4 借上等の「金額」欄には、輸送費又は車両等の借上費を記入すること。
 5 「故障の概要」欄には、故障の原因及び故障箇所を記入すること。

7-26 炊き出し給与状況【本編第5章第15節】【地震第3章第12節】

炊き出し給与状況

部 班 名	部 班
報 告 日 時	月 日 時

給与場所名	開始月日	給食数				備 考
		朝	昼	夜	計	
計						

注：備考欄は、給食内容、終了予定日、実支出額を記入すること。

7-27 炊き出し等による食品給与物品受払簿【本編第5章第15節】【地震第3章第12節】

(様式2)

炊き出し等による食品給与物品受払簿

部 班 名	部 班
報 告 日 時	月 日 時

品名		単位 呼称					
年 月 日	摘 要			受	払	残	備 考

注：1 「摘要」欄に、購入先又は受入先及び払出先を記入すること。

2 「備考」欄に、購入単価及び購入金額を記入しておくこと。

3 最終行欄に、受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。

7-28 生活必要物資給付（貸与）簿 【本編第5章第15節・第17節】【地震第3章第12節・第14節】

(様式)

生活必需物資給与（貸与）簿

音更町

住家被害程度区分	世帯主氏名	基礎となった世帯構成人員	給与月日	物資給与の品名				実支出額	備考
				布団	毛布				
計	全壊	世帯							
	半壊	世帯							

災害救助物資として上記のとおり給与したことに相違ありません。

年 月 日

給与責任者

氏 名 印

- 注：1 住家の被害程度に応じ、全壊（焼）、流失、埋没、半壊（焼）、床上浸水の別を記入すること。
 2 受領年月日に、その世帯に対して最後に給与された物資の受領年月日を記入すること。
 3 「物資給与の品名」欄に数量を記入すること。

7-29 罹災証明書【本編第8章第2節】【地震第4章第2節】

罹 災 証 明 書				
世帯主 (代表者)	氏 名			
	住 所			
	罹災の原因	<input type="checkbox"/> 暴風 <input type="checkbox"/> 豪雨 <input type="checkbox"/> 豪雪 <input type="checkbox"/> 洪水 <input type="checkbox"/> 火災 <input type="checkbox"/> 地震		
		<input type="checkbox"/> 爆発 <input type="checkbox"/> その他		
	罹災年月日	年 月 日		
	罹災場所			
	罹災程度	<input type="checkbox"/> 住 家 <input type="checkbox"/> 全壊(焼) <input type="checkbox"/> 半壊(焼) <input type="checkbox"/> 流 失		
<input type="checkbox"/> 非住家 <input type="checkbox"/> 床上浸水 <input type="checkbox"/> 床下浸水 <input type="checkbox"/> その他				
人 員		<input type="checkbox"/> 死亡 人 <input type="checkbox"/> 行方不明 人		<input type="checkbox"/> 負傷 人
	氏 名	続 柄	年 齢	備 考
摘要				
上記のとおり、罹災したことを証明願います。 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> 年 月 日 </div> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;"> 住 所 申請者 氏 名 </div>				
証第 号 上記のとおり相違ないことを証明します。 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> 年 月 日 </div> <div style="text-align: right; margin-top: 50px;"> 印 </div>				

7-30 被災者台帳【本編第8章第2節】【地震第4章第2節】

【被災者台帳（1/2）】

基本情報		ID	住民票コード		⑬個人番号		⑪⑫その他の情報提供先等				
①氏名	カタカナ				③生年月日		本人同意提供先1				
	漢字						提供先1への提供日時				
⑧連絡先	電話番号				年齢	②性別		本人同意提供先2			
	FAX番号					男・女		提供先2への提供日時			
	メールアドレス						本人同意提供先3				
④住所又は居所							提供先3への提供日時				
※避難先							その他				
⑨世帯構成	No	氏名	性別	生年月日	年齢	職業	死亡	行方不明	重傷	軽傷	備考
	1										
	2										
	3										
	4										
	5										
	6										

【被災者台帳（2／2）】

基本情報	ID		住民票コード		⑬個人番号							
①氏名	カタカナ				③生年月日							
	漢字											
⑦要配慮者該当事由	No	No	No	No	⑤住家の被害状況							
要介護制度区分					全壊・半壊・流失・半焼・半壊 床上浸水・床下浸水・一部破損・土砂流入有無							
障がいの種類・程度												
乳幼児												
妊婦					家屋被害調査状況	建物種別	戸建・集合住宅					
持病（難病、特定疾病等）					実施済 ・ 未実施							
ペット有無					第一次調査結果	第二次調査結果	再調査結果					
その他（外国人など）					第一次調査申請日	第二次調査申請日	再調査申請日					
					第一次調査実施日	第二次調査実施日	再調査実施日					
⑥援護の実施状況					援護の実施の状況							
罹災証明書交付	北海道への提供		提供市町村名									
有・無	有・無											
罹災証明書の交付日	北海道への提供日		他の市町村への提供日									
見舞金申請日	被災者生活支援金申請日		義援金申請日			⑭その他						
有・無												
見舞金支給日	被災者生活支援金支給日		義援金支給日									
見舞金申請状況	被災者生活支援金申請状況		義援金支給状況									

7-3 2 学用品の給与状況【本編第5章第26節】【地震第3章第21節】

(様式)

学用品の給与状況

音更町

学校名	学年	児童 生徒 氏名	親権者 氏名	給与 月日	給与の内訳						実 支 出 額	備 考
					教科書			その他学用品				
					国語	算数		鉛筆				
				月 日							円	
計	小学校	人									円	
	中学校	人									円	

学用品を上記のとおり給与したことに相違ありません。

年 月 日

給与責任者（学校長）

氏 名 印

注：1 「給与月日」欄は、その児童生徒に対して最後に給与した給与月日を記入すること。

2 「給与品の内訳」欄には、数量を記入すること。

7-3 4 遺体処理台帳【本編第5章第27節】【地震第3章第25節】

(様式2)

遺体処理台帳

音更町

処理 年月日	遺体 発見 日時及び 場所	死亡者 氏名	遺族		洗浄等の処理			遺体 の 一時 保存	検案 料	実支 出額	備考
			氏名	死亡者との 関係	品名	数量	金額				
							円		円	円	
計		人									

7-35 埋葬台帳【本編第5章第27節】【地震第3章第25節】

(様式3)

埋葬台帳

音更町

死亡 年月日	埋葬 年月日	死亡者		埋葬を行った者		埋葬費				備考
		氏名	年齢	死亡者との 関係	氏名	棺 (付属品を含む)	埋葬又は 火葬料	骨箱	計	
						円	円	円	円	
計		人								

- 注：1 埋葬を行った者が町長であるときは、遺族の氏名を「備考」欄に記入すること。
 2 町長が棺、骨箱等を現物で給与したときは、その旨を「備考」欄に記入すること。
 3 埋葬を行った者に埋葬費を支給したときは、その旨及び金額を「備考」欄に記入すること。

7-36 労務者雇用台帳【本編第5章第32節】

(様式)

労務者雇用台帳

音更町

住所	氏名	日額 賃金	月 分						基本賃金		割増賃金		給与額
			日	日	日	日	日	日	日数	金額	時間	金額	
計	人		人	人	人	人	人	人					

7-37 水防信号【水防第11章第1節】

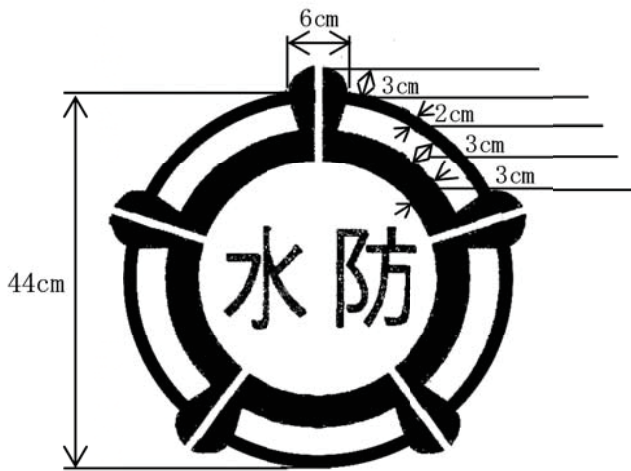
方法区分	サイレン信号	摘要
第1信号	5秒-15秒 5秒-15秒 5秒-15秒 ○-休止○-休止○-休止	氾濫注意水位（警戒水位）に達した時の信号
第2信号	5秒-6秒 5秒-6秒 5秒-6秒 ○-休止○-休止○-休止	消防機関の全員出動信号
第3信号	10秒-5秒 10秒-5秒 10秒-5秒 ○-休止○-休止○-休止	当該水防管理団体の区域内に居住する者の出動信号
第4信号	1分-5秒 1分-5秒 ○-休止○-休止	必要と認める区域内の居住者に避難のため立退くべきことを知らせる信号

(備考) 1信号は、適宜の時間継続すること。

2 必要があれば警鐘信号及びサイレン信号を併用することを妨げないこと。

3 危険が去ったときは、口頭伝達により周知させるものとする。

7-38 水防標識 【水防第 1 1 章第 2 節】



7-39 身分標識【水防第11章第3節】

表

第 号	水防立入検査員証
所 属	
職 名	
氏 名	
	上記の者は、水防法第49条第1項の規定により他人の土地に立ち入ることができる者であることを証する。
年 月 日	

裏

注 意
(1) 本証は水防法第49条第2項による立入証である。
(2) 本証の身分に変更があったときは速やかに訂正を受けること。
(3) 記名以外の者の使用を禁ずる。
(4) 本証の身分を失ったときは速やかに返還すること。

注：縦9cm、横6cm

7-40 公用負担権限委託証 【水防第12章第2節】

(別記様式1)

9cm	第 号 公用負担権限委任証
	住 所 職 名 氏 名
	上記の者に、 区域における水防法第28条第1項の権限行使について委任したことを証明する。
	年 月 日
	水防管理者
	印 班長 子ども福祉課
	6cm

注：縦9 cm、横6 cm

7-4 1 公用負担命令票 【水防第 1 2 章第 2 節】

(別記様式 2)

第号	公用負担命令票
住所 氏名	
水防法第 2 8 条第 1 項の規定により、次のとおり公用負担を命ずる。	
1 目的物	
(1) 所在地	
(2) 名称	
(3) 種類 (又は内容)	
(4) 数量	
2 負担内容	
(使用、収用、処分について詳記すること)	
年月日	
	命令者職氏名印 (日本工業規格 A 4 判)

7-42 水防活動実施報告書【水防第13章】

(別記様式3)

水防活動実施報告書

自 年 月
至 年 月

(市町村名)

区 分	水防活動		使用資材費			左のうち主要資材 35 万円以上使用団体分			備 考
	団体数	活動延人員	主要資材	その他資材	計	団体数	使用資材費		
							主要資材	その他資材	
県(都道府)分前 回 迄	—	—	円	円	円	—			
月 分	—	—				—			
月 分	—	—				—			
月 分	—	—				—			
月 分	—	—				—			
小 計	—	—	0	0	0	—			
累 計	—	—	0	0	0	—			
水防管理団体分前 回 迄	()					—			
月 分	()					—			
月 分	()					—			
月 分	()					—			
月 分	()					—			
小 計	0()	0	0	0	0	—			
累 計	0	0	0	0	0	0	円	円	円

(作成要領)

- 1 「前回迄」欄は、前回報告分にかかる「累計」欄の数及び金額を記入すること。
- 2 「団体数」欄の () 書には、当該月内に水防活動を行った水防管理団体数を、その他の欄には水防管理団体の実数を記入すること。
- 3 「月分」欄は、当該期間の調査対象月数に応じ区分すること。ただし、水防活動を行わない月の欄は不要。
- 4 「主要資材」欄は、俵、かます、布袋類、たたみ、むしろ、なわ、竹、生木、丸太、くい、板類、鉄線、釘、かすがい、蛇籠、置石及び土砂の使用額を記入すること。
- 5 「その他資材」欄は、主要資材以外の資材の使用額を記入すること。
- 6 「左のうち主要資材 35 万円以上使用団体分」の各欄の記入は、水防管理団体分の「累計」欄のみ記入すること。